



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月13日

東

上場会社名 株式会社アイスコ

上場取引所

コード番号 7698

URL <https://www.iceco.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 相原 貴久

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO

（氏名） 永野 泰敬

（TEL） 045 (811) 1302

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月15日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無 (当社ホームページにて決算説明会動画を配信)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	30,776	5.7	704	27.7	708	20.6	448	17.2
2025年3月期中間期	29,120	9.2	551	△5.6	587	△4.6	382	△3.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	114.80	110.89
2025年3月期中間期	98.18	95.24

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,301	4,254	21.0
2025年3月期	17,357	3,839	22.1

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 4,253百万円 2025年3月期 3,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	19.00	—	10.00	—
2026年3月期	—	10.00			
2026年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は20円00銭となります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	4.2	656	4.6	691	0.0	445	△7.5	113.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	3,917,600株	2025年3月期	3,905,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	96株	2025年3月期	96株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	3,907,918株	2025年3月期中間期	3,897,507株

当社は2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇や米国の通商政策の影響などに対する懸念が残るなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する食品流通業およびスーパーマーケット業界においては、円安基調が継続する中で、物流コストや原材料価格の高止まりが続き、食品価格は引き続き高水準で推移しております。

このような経営環境のもと、当社は「ICECO VISION 2030」の達成に向けて、第二次中期経営計画のもと、物流体制の強化をはじめ、人財への投資や新規事業への取り組みを通じて、将来に向けた成長基盤の構築を進めております。特に物流体制の強化策の一環として、2025年4月に横浜営業所を稼働し、関東エリアの売上増加への対応と配送効率の向上に取り組んでおります。また、2025年9月より関東マザーセンター（仮称）の建設に着手し、2026年12月に稼働を予定しております。

さらに、新規事業である冷凍食品専門店「FROZEN JOE'S」については、2025年9月に「調布PARCO」内に4号店を開店し、今後も事業拡大に向けた展開を進めてまいります。

以上の結果、当中間会計期間は主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高30,776百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益704百万円（前年同期比27.7%増）、経常利益708百万円（前年同期比20.6%増）、中間純利益448百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローゾン事業

フローゾン事業では、主要取引先であるドラッグストアの新規出店等の影響により、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

以上の結果、フローゾン事業の売上高は27,238百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は674百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業におきましては、低価格商品へのニーズに対応しつつ、当社の強みである商品の鮮度・品質・品揃えに徹底してこだわった販売を行い、販売力の強化に努めてまいりました。また、管理コストの削減を進めた結果、セグメント利益は前期比で増加いたしました。

以上の結果、スーパーマーケット事業の売上高は3,538百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は30百万円（前年同期は8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、2,943百万円増加し、20,301百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が1,836百万円増加したことや、関東マザーセンター(仮称)建設のための建設仮勘定が586百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、2,528百万円増加し、16,046百万円となりました。これは主に、フローゼン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が2,129百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、415百万円増加し、4,254百万円となりました。これは主に、利益剰余金が409百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,536百万円と前事業年度末に比べ98百万円増加となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは658百万円の収入(前年同期は1,471百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加額が1,836百万円(前年同期は578百万円の増加)、未収入金の増加額が360百万円(前年同期は278百万円の増加)となったものの、仕入債務の増加額が2,129百万円(前年同期は1,800百万円の増加)、税引前中間純利益が692百万円(前年同期比104百万円増加)となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは916百万円の支出(前年同期は399百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が934百万円(前年同期は420百万円)となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは356百万円の収入(前年同期は4百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が451百万円(前年同期は208百万円)となったものの、長期借入れによる収入が839百万円(前年同期543百万円)となったこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,470,557	1,536,763
受取手形及び売掛金	5,016,186	6,852,669
商品	840,032	966,201
未収入金	2,321,079	2,681,296
その他	21,675	43,359
貸倒引当金	△629	△866
流動資産合計	9,668,902	12,079,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,312,620	2,275,911
機械及び装置(純額)	283,092	326,848
車両運搬具(純額)	184,014	136,545
工具、器具及び備品(純額)	141,137	160,510
土地	3,241,859	3,172,109
建設仮勘定	10,920	597,816
その他(純額)	134,541	131,151
有形固定資産合計	6,308,185	6,800,893
無形固定資産		
ソフトウェア	70,226	62,509
その他	7,068	7,045
無形固定資産合計	77,295	69,555
投資その他の資産		
投資有価証券	19,562	19,598
繰延税金資産	592,299	592,288
保険積立金	15,837	16,273
差入保証金	667,985	686,872
その他	8,313	37,439
貸倒引当金	△907	△907
投資その他の資産合計	1,303,091	1,351,565
固定資産合計	7,688,572	8,222,013
資産合計	17,357,474	20,301,438

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,150,028	10,279,752
1年内返済予定の長期借入金	392,174	376,206
未払金	671,249	544,060
未払費用	657,084	621,732
未払法人税等	176,377	284,320
未払消費税等	65,438	90,534
賞与引当金	162,407	161,856
その他	57,008	54,387
流動負債合計	10,331,769	12,412,849
固定負債		
長期借入金	2,082,090	2,486,085
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	787,922	827,066
資産除去債務	122,524	123,677
その他	38,668	41,866
固定負債合計	3,186,305	3,633,795
負債合計	13,518,075	16,046,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	377,663	380,598
資本剰余金	302,663	305,598
利益剰余金	3,158,381	3,567,948
自己株式	△117	△117
株主資本合計	3,838,592	4,254,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△301	△277
評価・換算差額等合計	△301	△277
新株予約権	1,109	1,043
純資産合計	3,839,399	4,254,793
負債純資産合計	17,357,474	20,301,438

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29,120,564	30,776,834
売上原価	24,043,099	25,413,659
売上総利益	5,077,464	5,363,175
販売費及び一般管理費	4,525,645	4,658,365
営業利益	551,819	704,809
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,004	7,145
有価証券売却益	9,316	-
不動産賃貸料	25,692	25,011
雑収入	14,821	18,953
営業外収益合計	54,835	51,111
営業外費用		
支払利息	10,427	16,085
不動産賃貸費用	7,380	7,378
資金調達費用	-	21,250
その他	1,064	2,543
営業外費用合計	18,873	47,257
経常利益	587,781	708,663
特別損失		
固定資産売却損	-	16,534
特別損失合計	-	16,534
税引前中間純利益	587,781	692,129
法人税等	205,106	243,505
中間純利益	382,674	448,624

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	587,781	692,129
減価償却費	172,933	187,962
受取利息及び受取配当金	△5,004	△7,145
支払利息	10,427	16,085
売上債権の増減額(△は増加)	△578,972	△1,836,483
棚卸資産の増減額(△は増加)	△117,584	△126,137
未収入金の増減額(△は増加)	△278,118	△360,216
仕入債務の増減額(△は減少)	1,800,080	2,129,723
未払金の増減額(△は減少)	110,823	117,430
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,125	△551
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,300	39,144
長期前払費用の増減額(△は増加)	1,494	△29,613
その他	△84,633	△10,525
小計	1,651,401	811,804
利息及び配当金の受取額	5,002	6,770
利息の支払額	△10,427	△16,085
法人税等の支払額	△174,060	△143,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,471,915	658,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△420,421	△934,252
有形固定資産の売却による収入	160	53,425
無形固定資産の取得による支出	—	△52,290
定期預金の増減額(△は増加)	—	32,597
投資有価証券の売却による収入	18,246	—
保険積立金の積立による支出	△435	△435
差入保証金の差入による支出	△83	△19,503
差入保証金の回収による収入	1,257	1,116
その他	1,288	3,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399,988	△916,157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	543,650	839,650
長期借入金の返済による支出	△208,233	△451,623
ストックオプションの行使による収入	5,851	5,803
配当金の支払額	△36,957	△37,705
自己株式の取得による支出	△117	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,192	356,125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,076,120	98,803
現金及び現金同等物の期首残高	2,403,173	1,437,960
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,479,294	1,536,763

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,687,663	3,432,900	29,120,564	—	29,120,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	145,630	—	145,630	△145,630	—
計	25,833,294	3,432,900	29,266,194	△145,630	29,120,564
セグメント利益(注) 2	543,422	8,397	551,819	—	551,819

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△145,630千円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
 3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,238,767	3,538,067	30,776,834	—	30,776,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	161,637	—	161,637	△161,637	—
計	27,400,405	3,538,067	30,938,472	△161,637	30,776,834
セグメント利益(注) 2	674,680	30,129	704,809	—	704,809

- (注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△161,637千円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。
 3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。